



循環器内科部長
中村 尚太

最近のトピックス Topics

閉塞性睡眠時無呼吸症候群と心血管疾患

当院には常勤の呼吸器内科医がいないこともあり、閉塞性睡眠時無呼吸（OSA；Obstructive Sleep Apnea）に対する持続的気道陽圧（CPAP；Continuous Positive Airway Pressure）療法は循環器内科で行っています。

閉塞性睡眠時無呼吸（OSA）の診断：

睡眠時無呼吸（OSA）の診断には、まず、自宅で施行可能な簡易検査（SpO₂、脈拍数、鼻気流、いびき）を行っていただき、必要な場合は1泊入院のうえ、心電図、脳波・眼球運動、筋電図、呼吸努力などを加えた終夜睡眠ポリグラフ検査（PSG；polysomnography）を行っています。AHI（Apnea hypopnea index=1時間あたりの無呼吸低呼吸指数）により軽症（5≤AHI<15）、中等症（15≤AHI<30）、重症（30≤AHI）に分類し、CPAP療法の適応があるかを判断します（クラスI適応は30≤AHI、保険適応はPSGで20≤AHI/簡易検査で40≤AHI）。

閉塞性睡眠時無呼吸（OSA）と心血管疾患：

OSAは様々な心血管疾患と関連していることが明らかになっており、これには、上気道の閉塞のため睡眠中に発生する胸腔内圧の陰圧化、一過性の低酸素血症、交感神経活性の過剰亢進などが関与していると考えられています。代表的なものとして、以下のようなことが報告されています。

- ①高血圧：OSAは高血圧発症の独立した危険因子で、non-Dipper型を示すことが多く、治療抵抗性高血圧患者の約80%に合併する。また、CPAPにより24時間平均血圧を3.1mmHg低下する。
- ②心房細動：心房細動の既往のないOSA患者において、

心房細動の発症頻度は2倍以上高く、CPAPによりカテーテルアブレーション施行患者の心房細動再発率が低下する。

- ③冠動脈疾患：70歳未満の男性ではOSAが冠動脈疾患の発生予測因子であり、特に急性冠症候群ではOSAの合併率が高く、CPAPはPCI患者の再PCIリスクを低下する。
- ④脳卒中：1,022例を対象にした約3年間の追跡研究で、OSA重症例で脳卒中リスクが3.3倍に増加する。

このようにOSAと心血管疾患には明確な関連があり、CPAPは各疾患に対して一定の効果が見込まれるようです。しかしながら、OSAを有する冠動脈疾患・脳血管疾患患者へのCPAPの2次予防効果を検討したSAVE試験（N Engl J Med. 2016；375：919-31）では、CPAPによる心血管イベント（心血管死、急性心筋梗塞、脳卒中、心不全入院）の抑制効果は認められませんでした。ただし、この試験におけるCPAPの装着時間は平均3.3時間と短く（良好なアドヒアランスは4時間以上）、これが結果を左右したとも言われていますので、心血管疾患に対する効果にはさらなる検討が必要のようです。

OSAの主徴候はいびきや日中の傾眠、倦怠感であり、これらに対するCPAPの効果は疑いようがなく、肥満を有するOSA患者さんの場合は、減量や節酒が最も重要ですので、心血管疾患に対する効果を過剰に期待することなく、原心疾患の治療を中心にアドヒアランスを見ながら適切にCPAPを使用することが肝要と考えられます。

先生方の患者さんで、お困りの方がいらっしゃいましたら当院へぜひご紹介ください。

理念

私たちくまもと森都総合病院は質の高い医療を通じて地域に愛され親しまれる病院を目指します。

基本方針

1. 患者さんとの良好なパートナーシップを築き、満足度の高い、心かよう医療の提供に努めます。
2. 地域医療機関との連携を密にし、地域に根ざした医療サービスを推進します。
3. 優れた医療人を育成し、安全で質の高い医療を提供します。



つながる医療。ひろがる未来。

医療法人 創起会

くまもと森都総合病院

〒862-8655 熊本市中央区大江 3-2-65

TEL 096-364-6000（代表）

FAX 096-362-5204

<https://www.k-shinto.or.jp>



左から 松尾敦子部長、城野昌義特別顧問、宮村智裕医師、宮下加奈子医師

診療科紹介 皮膚科

皮膚および毛髪、爪の疾患の診断・治療を行っています。「皮膚は内臓の鏡」と言われますが、皮膚の状態によって内科的疾患が発見できることがあり、また内科的疾患の合併症や治療の副作用として皮膚症状が出現することもあります。総合病院の利点を生かして、他科と連携して治療を行っています。尚、かかりつけ医療機関との連携をスムーズにするために、初診の患者さんには紹介状を持参して頂いています。

外 来：皮膚科一般の急性疾患から慢性疾患まで幅広く対応しています。

- 検査は皮膚生検（病理検査）、パッチテスト（パッチテストパネル、金属パッチテスト）、真菌検査などを行っています。
- 特殊な治療
 - ① 生物学的製剤：乾癬、掌蹠膿疱症、化膿性汗腺炎、アトピー性皮膚炎、円形脱毛症、特発性慢性蕁麻疹に対して使用しています。
 - ② 光線治療：アトピー性皮膚炎、乾癬・類乾癬、掌蹠膿疱症、菌状息肉症、円形脱毛症、尋常性白斑などに対して、全身型ナローバンドUVB、エキシマライトによる治療を行っています。

入 院：主に以下の疾患で入院治療を行っています。

- 皮膚感染症（带状疱疹・成人水痘、蜂窩織炎、丹毒、カポジ水痘様発疹症）
- 中毒疹、薬疹
- 炎症性皮膚疾患の増悪（アトピー性皮膚炎、慢性湿疹、乾癬、蕁麻疹など）
- 自己免疫性水疱症（水疱性類天疱瘡、天疱瘡）

- 専門的処置を必要とする疾患（難治性皮膚潰瘍、熱傷、褥瘡など）
- 腫瘍切除

手 術：皮膚良性腫瘍、悪性腫瘍（ボーエン病、有棘細胞癌、基底細胞癌など）、褥瘡のポケット切開などの手術を行っています。腫瘍の部位やサイズによって、外来日帰り手術、または入院での手術を行います。植皮や皮弁術による切除後の再建も行っています。

水疱性類天疱瘡とDPP4阻害薬：水疱性類天疱瘡は高齢者に多い自己免疫疾患です。表皮基底膜に対する自己抗体によって全身の皮膚に水疱・びらんが生じる疾患で、痒みの強い紅斑を伴うことが多いです。発症前に長かゆみのみが続くことがあり、水疱が出現するまでは皮脂欠乏性湿疹や、皮膚掻痒症とは区別がつかないことがあります。

糖尿病の治療に近年よく使用されているDPP4阻害薬により水疱性類天疱瘡が誘発されることがあります。DPP4阻害薬によって、T細胞のTh1/2バランスがTh2に傾きやすくなり自己抗体が産生されやすい状態になるため、特定の遺伝的背景を持つ患者には類天疱瘡が発症するリスクが高くなります。内服開始から発症までは数か月から数年とかなりばらつきがあり、薬剤の中止のみで軽快する軽症例から0.5mg/kg/日以上ステロイド投与が必要となる重症まで様々です。また、近年では免疫チェックポイント阻害薬に関連した自己免疫性水疱症の報告例も増えています。

当院では地域の先生方と連携して、患者さんに満足していただけるよう今後も診療を行ってまいります。皮膚疾患でお困りの患者さんがおられましたらぜひご紹介ください。

（皮膚科部長 松尾 敦子）

『Shinto公開医学講座』のご案内

テーマ 心不全と頻脈性不整脈

日 時 2022年11月17日（木）17:30～18:00

開催方法 ハイブリッド開催（Web参加も可能です）

場 所 くまもと森都総合病院 5F 大会議室

参加方法 下記URLもしくはQRコードよりお申し込みください。お申し込み確認後、招待メールをお送りさせていただきます。（<https://https://onl.bz/tN3yXXc>）

講 師 循環器内科部長 中村 尚太





1

外来予約依頼書を当院へFAXをお願いします。

外来予約依頼書を当院地域医療連携室へFAX (096-364-8585) ください。所定書式を準備しております。当院ホームページからダウンロードも可能です。

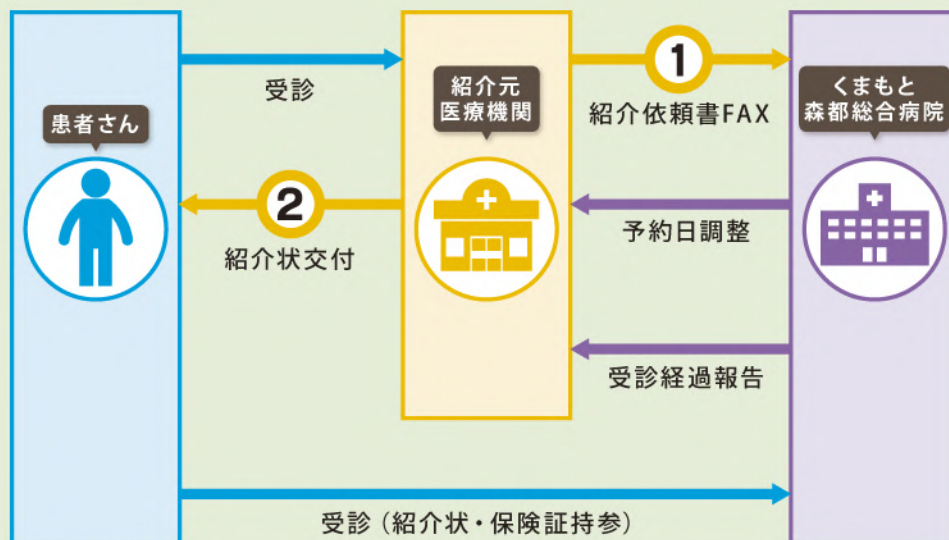
<https://www.k-shinto.or.jp/> トップページ > 医療関係者の方へ > 患者紹介について

2

患者さんへ紹介状をお渡しいたしますようお願いいたします。

受診予定日が決まりましたら貴院へ予約票をFAXさせていただきます。

患者さんに紹介状(診療情報提供書)をお渡しいたし、受診当日にご持参いただけますようご案内をお願いいたします。



紹介予約 (FAX予約) 受付時間

平日9時00分から16時00分まで

FAX送付先 地域医療連携室

FAX 096-364-8585

※受付時間外にいただきましたFAX紹介につきましては、翌診療日に予約調整とさせていただきます。

電話紹介について

緊急性が高く、当日受診が必要な患者さんのご紹介はお電話にてお願いいたします。

ご不明な点につきましては下記までお電話くださいますようお願いいたします。

地域医療連携室 Tel.096-364-9790 Fax.096-364-8585

受付時間 午前 8:00 ~ 11:00 (再来機の受付は7:30より開始) ※急患はこの限りではございません

2022年11月1日現在

	午前 / 午後	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
内科診療：午前〔初診及び再診〕・午後〔再診のみ〕						
総合診療科	午前	吉田 健	吉田 健	吉田 健 再診	吉田 健	
肝臓・消化器 内科	午前	藤山 重俊	宮瀬 志保	藤山 重俊	宮瀬 志保	柚留木 秀人
		柚留木 秀人	三浦 浩美	束野 奈津己	束野 奈津己	三浦 浩美
血液内科	午前	藤原 志保	藤原 志保	下村 泰三	藤原 志保	下村 泰三
		花田 駿志	鈴島 仁	渡邊 祐子	渡邊 祐子	鈴島 仁
	午後	下村 泰三	宮川 寿一		宮川 寿一	
循環器内科	午前	中村 尚太		中村 尚太	中村 尚太	中村 尚太
	午後	中村 尚太		中村 尚太		
腎臓内科	午前				水足 謙介	水足 謙介
	午後	水足 謙介				
リウマチ 膠原病内科	午前	高岡 宏和 初診	高岡 宏和 再診		高岡 宏和 再診	
	午後			高岡 宏和 再診		
呼吸器内科	午前			今井 美友 (熊大) 再診		
代謝・内分泌内科	午後			黒岩 花織 (熊大) 再診		
外科	午前	山中 剛	田嶋 ルミ子	田嶋 ルミ子	山中 剛	山中 剛
	午後	田嶋 ルミ子				
乳腺外科 (乳腺センター)	午前	初診担当医 再診	手術	初診担当医 再診	手術	初診担当医 再診
	午後 (再診)	大佐古 智文	大佐古 智文	大佐古 智文	大佐古 智文	大佐古 智文
		大塚 弘子	大塚 弘子	大塚 弘子	大塚 弘子	大塚 弘子
		中野 正啓	中野 正啓	中野 正啓	中野 正啓	中野 正啓
午前 8:30 ~ 12:00 午後 14:00 ~ 16:00 (完全予約制)		藤末 真実子	藤末 真実子	藤末 真実子	藤末 真実子	藤末 真実子
産婦人科	午前	永井 隆司	永井 隆司	永井 隆司	永井 隆司	永井 隆司
	午後	岡島 翠	岡島 翠	岡島 翠	岡島 翠	岡島 翠
産婦人科	午後	片淵 秀隆 (女性相談外来)	片淵 秀隆 (女性相談外来)	手術	片淵 秀隆 (女性相談外来)	永井 隆司 初診予約 岡島 翠 (検診)
整形外科	午前 初診 再診	有村 仁志	山部 聡一郎	有村 仁志	山部 聡一郎	山田 祐莉子
眼科	午前	山部 聡一郎	山田 祐莉子	山部 聡一郎	山田 祐莉子	有村 仁志
		松本 光希 8:30 診察開始	松本 光希 9:30 診察開始	松本 光希 8:30 診察開始		松本 光希 8:30 診察開始
		草野 雄貴 8:30 診察開始	草野 雄貴 8:30 診察開始	草野 雄貴 9:30 診察開始	手術	草野 雄貴 9:30 診察開始
	午後	西澤 麻保 9:30 診察開始	西澤 麻保 8:30 診察開始	西澤 麻保 8:30 診察開始	手術	西澤 麻保 8:30 診察開始
皮膚科 (完全予約制)	午前	宮下 加奈子	松尾 敦子	松尾 敦子	宮村 智裕	松尾 敦子
		城野 昌義 再診	宮村 智裕	宮下 加奈子	城野 昌義 再診	宮下 加奈子
午後	予約注射のみ	手術		(回診) 予約注射のみ	手術	
麻酔科 ペインクリニック (完全予約制)	午前	洲崎 祥子		田口 裕之		
緩和ケア (面談)	午前	田口 裕之 (術前診療)		洲崎 祥子 (術前診療)		
腫瘍精神科	午前	橋口 清明	橋口 清明	橋口 清明	橋口 清明	橋口 清明
放射線科 (幸秀明・西東葉子)	午前	木下 裕子	木下 裕子	木下 裕子	木下 裕子	木下 裕子
	午後	担当医	担当医	担当医	担当医	担当医